

学校図書館の「今」

「学校図書館」は、今や本の貸し借りだけでなく、子どもたちの成長や学びを多方面から支える場所へと進化しています。

3つの役割を持つ「多機能」な場所

「学校図書館」は、子どもたちの学校生活をさまざまな形で支えるために、たくさんの方の大切な役割（機能）を持っています。

◆**読書センター**…子どもの好奇心にこたえる本をそろえ、一生ものの読書習慣を育みます。

◆**学習センター**…本や新聞、デジタル情報を組み合わせ、主体的な探究を支えます。

◆**情報センター**…教材の準備や資料探しで先生を助け、学校全体の授業を支えます。

「学校司書」の全校配置

この充実した学校図書館を支えるのが、専門家である「学校司書」です。国が「学校司書」の配置を努力義務とするよりも前に、市では子どもの読書や探究学習には専門家が不可欠」と考え、平成13年にすべての小・中・義務教育学校に配置しました。

そして今、「学校図書館は、子どもと先生、みんなの学びを応援するところでも頼もしい場所となっています。」

学校司書

子どもたちの探究心を引き出し子どもと本をつなぐ

「学校司書」とは、学校図書館を居心地の良い場所に整え、みんなの学びを支える専門の職員です。本の整理や、毎日の貸し出しや返却の手続きをするだけでなく、司書教諭や教職員と連携を図り、「探究的な学び」に必要な資料を準備する大切な役割を持っています。

子どもたちが「おもしろい本はないかな？」「このことについて調べたいな」と思ったときに、いつでも優しく相談に乗り、読書の楽しさや自分で調べるおもしろさを伝えることで、学校全体の毎日の学びを温かく支えています。

本が好きな一部の子だけが利用する場所ではなく、誰もが気軽に使える場所にしたいと考えています。子どもたちの「知りたい」という気持ちを引き出せるよう、本と一緒に木の実などの実物を置いています。また、資料の質を意識して選書し、司書教諭と相談しながら学校図書館を作り上げています。迷いながらがんばって調べたことは記憶に残るので、子どもたちにはぜひ本を活用してほしいな、と思います。

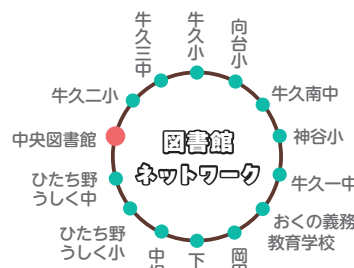


牛久第二小学校図書館司書 関口 朱美さん

▲アゲハのサナギ

学校図書館ネットワーク

牛久市内13校の学校図書館と中央図書館を結ぶ



学校図書館ネットワーク活用例



牛久市学校図書館ネットワークとは、中央図書館と市内の全小・中・義務教育学校をオンラインで結び、本や情報の共有、学習支援を行うシステムです。最大の強みは「定期配送」という図書館ネットワークにより、テーマに合った本を探し出すシステムです。

1つの学校だけでなくゆるやかな書籍や、調べ学習に必要な資料を網羅することは容易ではありません。しかし、このネットワークを通じて他校や中央図書館から書籍を相互に貸し借りすることが可能となります。この取り組みにより、子どもたちの選択肢が広がり、読書への興味を引き出すきっかけとなっています。さらに、授業に必要な資料をタイムリーに集められる環境が整い、学校の壁を越えた連携が子どもの主体的な学びと探究心を育む教育基盤となっています。

みんなでつくる。学校の図書館

本を借りる場所から、学びと心を支える場所へ。かつて学校図書館はページをめくる音が静かに響くところでした。そして調べ、考えが広がる場所になっています。

問 教育支援課内線3313

図書館の運営や読書推進に向けた各種活動を行う

(右)委員長の井上さんのおすすめ本は「うまれたよ！ヤドカリ(武田晋一著/岩崎書店)」
(左)副委員長の首藤さんのおすすめ本は「たくさんふしぎシリーズ(福音館書店)」



図書館委員会

岡田小学校の図書委員会では、5・6年生の児童16人が子どもたちの読書活動を支えています。主な活動は、休み時間の本の貸し出し・返却の受け付けや、本を書架に戻す作業です。

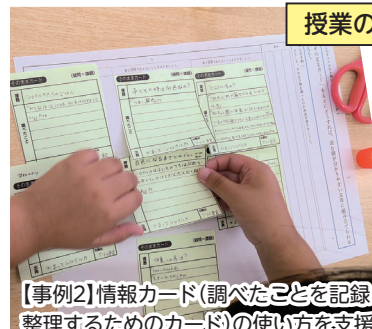
委員長 井上澄志さん(小6)は、「本にはたくさんのおもしろいことが詰まっています。みんなに本の魅力を知ってほしい」と想いを語ります。

9月には「図書館の本をもっとたくさんの人に読んでもらいたい」と、本の紹介カード(ポップ)を作成。ポップにはあらすじだけでなく、イラストや仕掛けをふんだんに盛り込みました。さらに、おすすめの本を書いた読書くじなども企画。副委員長の首藤晴貴さん(小6)は、「イベントをきっかけに、たくさんの方が図書館に来てくれるようになった」と手応えを話します。

共に本が大好きな井上さんと首藤さん。二人は「いろんな学年の人たちが図書館に来てくれるのがうれしい。特に貸し出しバーコードのポップという音が好き」と、声を揃えて笑顔を見せました。



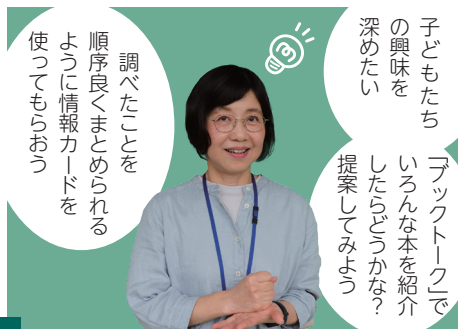
授業のサポート



【事例2】情報カード(調べたことを記録・整理するためのカード)の使い方を支援



【事例1】ブックトーク:1つのテーマに沿って本を幅広く紹介し、読書や関連分野などについても興味をもたせる取り組み



子どもたちの興味を深めたい
「ブックトーク」でいろんな本を紹介したらどうかな？
提案してみよう

調べたことを順序良くまとめられるように情報カードを使ってみよう



本の整理

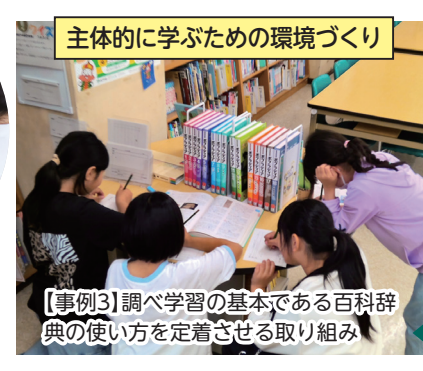


季節展示



司書会議

月1回のミーティングで情報共有や情報交換



主体的に学ぶための環境づくり

【事例3】調べ学習の基本である百科辞典の使い方を定着させる取り組み



子どもたちが自分で調べたいものを見つけるには…
調べることの楽しさを感じてほしいから
百科事典を使って解くクイズのコーナーを作ろう

休み時間に挑戦してみよう

学校司書のお仕事



学校司書のおすすめ本は本紙10ページ「としかんだより」へ！